

問① 「**ぼくの妹のたん**生日は、五月二日だ。」の「**主語**」を書きましよう。

「主語」に当たる言葉が分かりますか？



(答え)

★うら面に答えがあります。答え合わせをしましょう。  
できた人は問②へ進み、できなかった人は、うら面の《ステップ1》でたしかめよう！

問② 「**ぼくの妹のたん**生日は、五月二日だ。」の「**述語**」を書きましよう。

「述語」に当たる言葉が分かりますか？



(答え)

★うら面に答えがあります。答え合わせをしましょう。  
できた人は問③へ進み、できなかった人は、うら面の《ステップ2》でたしかめよう！

問③ 「**ぼくの妹のたん**生日は、五月二日だ。」は、次のどの「**文の型**」でしょう。

【A型】「○○が(は)、どうする(した)。」【B型】「○○が(は)、どんなだ。」【C型】「○○が(は)、○○が(は)、なんだ。」

文の中で「主語」と「述語」が分かり、正しく使えますか？



(答え)

型

★うら面に答えがあります。答え合わせをしましょう。  
できた人は問④へ進み、できなかった人は、うら面の《ステップ3》でたしかめよう！

問④ 「**ぼくの妹のたん**生日は、五月二日だ。」の文で、「**ぼくの**」「**妹の**」に**当たる言葉**を何と**いうので**しょう。

文の意味をくわしくしたり、分かりやすくしたりする言葉です。



(答え)

★うら面に答えがあります。答え合わせをしましょう。  
できた人は《学習のまとめ》へ進み、できなかった人は、うら面の《ステップ4》と「これまでの問題を解説します」でたしかめよう！

### 《学習のまとめ》

◎ ふだんから、「主語」と「述語」を確かめて、文を読んだり書いたり、話をしたり聞いたりするようにしましょう。



問①の答え

たん生日は

できた人は表の問②へ、できなかった人は《ステップ1》へ！

《ステップ1》「主語」に当たる言葉（小学校二年）

- ・だれが（は）… [例] わたしが 父が 先生が 友達が あなたは 母は かぶと虫は
- ・なにが（は）… [例] 自転車 山が えん筆が りんごが 長良川は 桜は 和紙は

★「主語」は、いつも文の始めにあるとは限りません。

[例] 地いきの祭りは、大切な伝統行事になっています。



※かくにんができたなら、問②へ！

問②の答え

五月二日だ

できた人は表の問③へ、できなかった人は《ステップ2》へ！

《ステップ2》「述語」に当たる言葉（小学校二年）

- ・どうする（どうした）… [例] 勉強する 練習する やって来た よろこんだ
- ・どんなだ… [例] 仲良しだ 静かだ おだやかだ ※青い 広い 美しい
- ・なんだ… [例] 森林だ 給食だ 遠足だ おじいちゃんだ 四月十七日だ

※かくにんができたなら、問③へ！

★「述語」は、文の終わりにあることが多く、文末の「。」に注意しよう。

[例] ふるさとのみ力を伝える。

[例] スポーツをする人は、健康だ。



問③の答え

C型

できた人は表の問④へ、できなかった人は《ステップ3》へ！

《ステップ3》「文の型」を使った文づくり（小学校三年）

- 【A型】「○○が（は）、どうする（した）。」 [例] 飛行機が、着陸した。 兄は、サッカーの練習をする。
- 【B型】「○○が（は）、どんなだ。」 [例] 教室の中が、なごやかだ。 にんじんは、真っ赤だ。
- 【C型】「○○が（は）、なんだ。」 [例] あの人が、博士だ。 私の夢は、マラソン選手だ。

※かくにんができたなら、問④へ！

問④の答え

修飾語（しゅうじょご）

できなかった人は《ステップ4》へ！

《ステップ4》「修飾語」に当たる言葉（小学校三年）

- ・なにを
- ↓ 私は、手紙を書いた。
- ・いつ
- ↓ 私は、昨日、手紙を書いた。
- ・どこで
- ↓ 私は、台所で、手紙を書いた。
- ・どこ（だれ、なに）の
- ↓ 私は、九州のおじいちゃんに、手紙を書いた。
- ・どんな
- ↓ 私は、長い、手紙を書いた。
- ・どのくらい
- ↓ 私は、かなり、長い手紙を書いた。
- ・どのように
- ↓ 私は、手紙を、ていねいに、書いた。

◎ 私は、昨日、台所で、九州のおじいちゃんに、かなり長い手紙を、ていねいに、書いた。



★文の中で、「なにを」「いつ」「どこで」「どの」「だれの」「なにの」「どんな」「どれくらい」「どのように」などに当たる言葉を「修飾語」と言い、文をくわしくしたり分かりやすくしたりする働きがあります。

★このまでの問題を解説します！

ぼくの [修飾語]

妹の [修飾語]

誕生日は [主語]

五月二日だ [述語]



① だれの妹かを分かりやすくした。 ② だれの誕生日かを分かりやすくした。

③ この文は【C型】の「○○は、なんだ。」

■ 漢字の成り立ちには、大きく分けて、次の四つがあります。

- (1) 象形文字 (2) 指事文字 (3) 会意文字 (4) 形声文字

問① 次のアからエの漢字は、右の(1)から(4)のどれに当たりますか。

「答え」のらんに書きましょう。

ア 鳴    イ 馬    ウ 上    エ 草

答え

ア    イ    ウ    エ

うら面に答えがあります。答え合わせをしましょう。  
できた人は、問②へ進み、できなかった人は、《ステツ  
プ1》でたしかめよう！

問②

漢字辞典で次の漢字の成り立ちを調べようと思います。しかし、

読み方も部首も分からないので困っています。

曲

この漢字を早く調べるための方法として、最もふさわし  
いものをアからエまでの中から一つ選んで書きましょう。

ア 部首さくいんのページを見て「曲」の漢字をさがす。

イ はじめのページから順にめくって「曲」の漢字をさがす。

ウ 音訓さくいんのページを見て、「ア・あ」から順に「曲」  
の漢字をさがす。

エ 総画さくいんのページを見て、六画の漢字の中から「曲」  
の漢字をさがす。

答え

うら面に答えがあります。答え合わせを  
しましょう。できなかった人は、《ステツ  
プ2》でたしかめよう！





問① 次の文の——線部の言葉を、ていねいな言い方に直して「答え」のらんに書きましよう。

- 1 右に回ると公園だ。
- 2 おべんとうを食~~べ~~る。
- 3 ありがとう。

答え

- 1
- 2
- 3



うら面に答えがあります。答え合わせをましよう。  
できた人は問②へ進みましよう。できなかった人は、うら面の《ステップ1》でたしかめよう！

問② 次の文の——線部の言葉を、下の( )の方法で尊敬語に直して

「答え」のらんに書きましよう。

- 1 お客様が学校に来ます。(特別な言い方に直す。)
- 2 校長先生が話します。(「お——になる」の言い方に直す。)
- 3 先生が教科書を読みます。(「——れる」の言い方に直す。)

答え

- 1
- 2
- 3



うら面に答えがあります。答え合わせをましよう。  
できた人は問③へ進みましよう。できなかった人は、うら面の《ステップ2》でたしかめよう！

問③ 次の文の——線部の言葉を、下の( )の方法でけんじょう語に直して「答え」のらんに書きましよう。

- 1 先生から本をもらいます。(特別な言い方に直す。)
- 2 お客様に荷物を届けます。(「お——する」の言い方に直す。)

答え

- 1
- 2



うら面に答えがあります。答え合わせをましよう。  
できた人は、うら面の【学習のまとめ】を読もう。できなかった人は、うら面の《ステップ3》でたしかめよう！

問①の答え

- 1 公園です
- 2 食べます
- 3 ありがとう「さい  
ます

できた人は表の問②へ、でき  
なかった人は《ステップ1》へ！

《ステップ1》ていねい語（小学校一年、五年）

○あまり親しくない人や大勢の人に話したり書いたりするときは、

「です」「ます」「ございます」

などの言葉を使います。これらを

ていねい語

といいます。

\* ていねい語は、相手（聞き手や読み手）に対する敬意を表します。

○こんな言い方があります。

- ・海である↓海です
- ・空だ ↓空です
- ・走ろう ↓走りましょう
- ・かして ↓かしてください



問②の答え

- 1 いらつしやいます
- 2 お話しになります
- 3 読まれます

できた人は表の問③へ、でき  
なかった人は《ステップ2》へ！

《ステップ2》尊敬語（小学校五年）

○相手や話題になっている人をうやまう気持ちを表すときは、**尊敬語**を使います。次のような種類があります。

(1) 特別な言葉

- ・いらつしやる（いる・来る）
  - ・おっしゃる（言う）
  - ・くださる（くれる）
- など

(2) 「お（ご）くになる」

- ・お読みになる（読む）
  - ・お出かけになる（出かける）
  - ・ご出席になる（出席する）
- など

(3) 「くれる（られる）」

- ・行かれる（行く）
  - ・利用される（利用する）
  - ・来られる（来る）
- など

(4) 物事を表す言葉に

- 「お」「や」「ご」を付ける
  - ・お手紙 ・お名前
  - ・ご卒業 ・ご住所
- など



問③の答え

- 1 いただきます  
（ちようだいしま  
す）
- 2 お届けします

できなかった人は

《ステップ3》へ！

《ステップ3》けんじよう語（小学校五年）

○自分や身の内の者の動作をけんぞんして言うことで、その動作を受ける人への敬意を表すときは、**けんじよう語**を使います。次のような種類があります。

(1) 特別な言葉

- ・うかがう（行く・たずねる）
  - ・いただく（食べる・もらう）
  - ・申し上げる（言う）
- など

(2) 「お（ご）くする」

- ・お見送りする（見送る）
  - ・お話しする（話す）
  - ・ご案内する（案内する）
- など

【学習のまとめ】◎敬語は相手と自分との関係によって、「ていねい語」「尊敬語」「けんじよう語」

三種類を使い分けれます。必要に応じて、適切に敬語を使えるようになります。

○漢字辞典と国語辞典を使って、次の問題にちよう戦しよう。

問① 次の文の  には、( ) の中のどの漢字を使った言葉が適切でしょうか。  の中に書きましょう。

■ はかる (測る・計る・量る)

ア 肥料の入ったふくろの重さを 。

イ 校庭の木の高さを 。

ウ 往復にかかる時間を 。

◇ヒント：漢字辞典で意味を調べてみよう。

・測る…

・計る…

・量る…

うら面に答えがあります。答え合わせをしましょう。  
できた人は、問②へ進み、できなかった人は、うら面の  
《ステップ1》でたしかめよう！



問② 次の文を読んで、同じ読み方をする部分に線を引き、それぞれの言葉の意味を、国語辞典で調べましょう。

■ 酸性雨を防ごうという意見に賛成する。

◇線を引いた部分を( )の中に書いて、それぞれの意味を国語辞典で調べてみよう。

( ) …

( ) …

うら面に答えがあります。答え合わせをしましょう。  
できなかった人は、うら面の《ステップ2》でたしかめ  
よう！



問①の答え ア 量る イ 測る ウ 計る

※ 漢字の意味は、自分が引いた漢字辞典で確かめてね。

《ステップ1》漢字辞典を使った漢字の調べ方（小学校四年）

○ 漢字辞典には、三つのさくいんがついています。漢字をさがすときには、そのどれかを使います。

「音訓さくいん」で引く  
漢字の読み方が分かっているときは、「音訓さくいん」を見ます。音訓さくいんには、読み方が五十音順になっています。

みず	みずうみ	みずから	みせ	みせる	みぞ	みたす	みだす
水	湖	自	店	見	溝	満	乱
721	930	384	962	727	724	43	

「部首さくいん」で引く  
部首を手がかりにするときは、「部首さくいん」を見ます。部首さくいんには、画数の少ないものから順になっています。

二画	二画	二画	二画	二画	二画	二画	二画
二	一	一	一	一	一	一	一
に	け	い	ん	かん	むり	人	(イ・人) ひと
イ	にん	べん	へ	ひと	やね	九	ひん
い	ん	べん	ひ	と	やね	ひん	おし
54	49	57	57	57	110		

「総画さくいん」で引く  
漢字の読み方も部首も分からないときは、「総画さくいん」で調べます。総画さくいんには、漢字が総画数の少ないものから順になっています。

五画	五画	五画	五画	五画	五画	五画	五画
以	乎	井	主	丙	世	丘	且
63	1131	41	38	33	31	31	31
卯	占	半	北	包	功	加	刊
1131	186	180	174	172	162	161	144
139	136						

○ 「はかる」は、同じ訓読みの言葉なので、「音訓さくいん」で調べることが出来ます。他にも、「熱い」と「暑い」、「厚い」や、「差す」と「指す」など、同じ訓をもつていてもちがう意味やちがう使い方の漢字があります。

問②の答え ( 酸性 ) と ( 賛成 )

※ 熟語の意味は、自分が引いた国語辞典で確かめてね。

《ステップ2の1》国語辞典の「見出し語」(小学校三年)

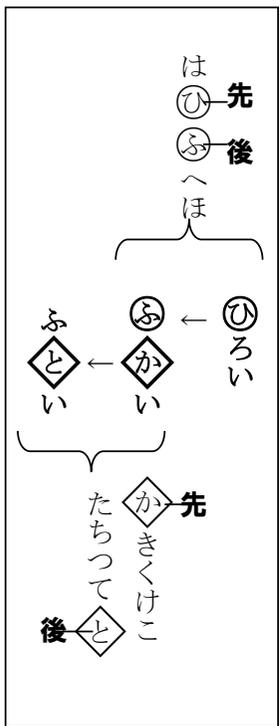
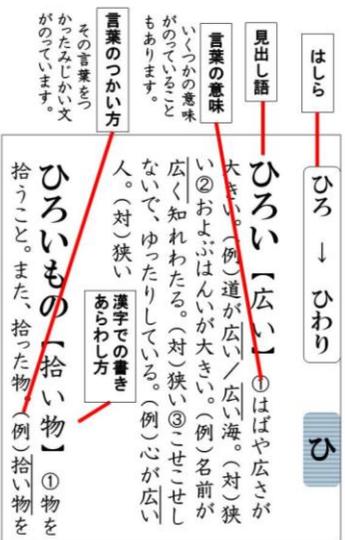
○ 「見出し語」は、五十音順になっています。

\* 「ひろい」と「ふかい」では、一字目の「ひ」と「ふ」をくらべて、「ひ」が先になります。

\* 一字目が同じの「ふかい」と「ふとこ」は、「二」字目の「か」と「と」をくらべて「か」が先になります。

《ステップ2の2》国語辞典を使った言葉の意味の調べ方(小学校三年)

○ 多くの国語辞典は、左のような示し方をしています。



・辞典に示されている意味のうち、文の内ようから、どの意味が当てはまるかを考えましょう。

・見出し語は「」で省りやくされていることも多いです。(例)「心が一人」

○ 問題にあった「酸性」と「賛成」は、どちらも音読みで(さんせい)と読みます。他にも、「先頭」と「銭湯」や、「功績」と「鉱石」など、同じ音をもつ漢字を組み合わせてできた熟語があります。

【学習のまとめ】◎ 漢字にも、いくつかの意味があり、文や使われ方によってどの意味に当てはまるかを考えます。ふだんから辞典を使い、言葉や漢字を正しく使えるようになるう。

できた人は表の問②へ、できなかった人は《ステップ1》へ！

答えの順番は、問いません。できなかった人は《ステップ2》へ！